

## 令和6年度 博物館セミナー予定表（確定版）

	期 日	時 間	講 師	タイトル	内 容
1	令和6年 7月21日 (日)	13時30分 ～ 15時30分	浪江健雄氏	藩社会史における 執務規則～関宿藩 の生活と仕事を事 例に～	江戸時代の藩士たちは、どのような規則のもとに生活していたのでしょうか。俸禄の受け方、病気にともなう規則、懲戒処分のあり方などからは、時代を顕すものだけでなく、現代社会にも通ずるものがあります。そうした執務規則から藩社会の実像に迫ります。
2	8月18日 (日)		松井哲洋氏	川の船と海の船	日本には多様な河川や海などの水域があり、様々な工夫が施された船がありましたが、今ではわずかに残された古文書や板図などからその姿を想像することしかできません。そこで、古文書などの残された資料に基づいて製作した各地の高瀬船や五大力船を水に浮かべて動かしながら、それぞれの船に秘められた工夫の跡、船関連古文書の解読方法やそれを基にした図面の描き方についての実例を紹介します。
3	11月17日 (日)		岩槻秀明氏	河川敷の植物いろ いろ	河川敷を歩くとさまざまな植物を見ることができます。他の環境ではあまり見られないような、ちょっと珍しい種類も少なくありません。博物館周辺の河川敷で確認した植物を写真でいろいろ紹介したいと思います。
4	12月8日 (日)		市川幸男氏	江戸時代中期の治 水仕法紀州流・井 澤弥惣兵衛為永の 業績について	江戸時代中期の勘定吟味役の井澤弥惣兵衛の業績として、見沼代用水の開削、見沼通船堀の設置は著名なところですが、それ以外にも飯沼干拓や吉田用水の開削など多くの大事業を手がけていますが、それほど知られていません。後に美濃郡代に就任して木曾三川の分離工事計画の策定もしました。 短期間に遂行された優れた業績について紹介して参ります。
5	令和6年 1月19日 (日)		石田年子氏	野田市の庚申塔	江戸期、庶民の間に爆発的に浸透した庚申信仰により造立された庚申塔は、日本全国に存在しています。野田市もその影響を受け、総数の740基あまりが市内に残されています。永年の調査研究の成果を通して野田市内の庚申塔の詳細を紹介します。
6	2月11日 (火・祝)		松丸明弘氏	江戸庶民の下総・ 常陸の川船の旅	江戸時代、利根川の木下河岸より船を利用し、流域にある香取神宮、鹿嶋神宮、成田山新勝寺などの寺社へ参詣をしていた江戸庶民の旅の様子について、引札とよばれた案内図や十返舎一九の著した『諸国道中金の草鞋』などの出版物を通じて、参詣ルートや参詣寺社などについて紹介します。
7	3月9日 (日)		新井浩文氏	関宿周辺の湖沼機 能Ⅱ	昨年度のセミナーに引き続き、関宿周辺の湖沼機能について、近世初期の地図等から考察します。